



—ALTとの効果的な連携の在り方とは—

外国語活動充実のためのポイント、三つ目は「ALT(あるいは非常勤講師の先生)との効果的な連携」です。

皆さんは、ALTとうまく連携を図りながら外国語活動の授業を展開していますか？まかせっきりになっていませんか？

「十分うまくやっているよ！」という方ももちろんいらっしゃるでしょう。

ですが、ここでは「もう少しかな？」と感じている方のために、ALTとの「効果的な連携の在り方」を考えてみたいと思います。

ALTとは？

- Assistant Language Teacher の略です。外国語指導助手です。
以前はAET (Assistant English Teacher) と呼んでいたこともありますが、現在はALTです。

ALTの役割は？

- ALTの役割を考えると、学級担任との役割の違いを押さえることが大切です。基本はこれです。

	学級担任	ALT
適性	小学校教育／学級経営／児童理解	外国語（英語）に関する知識や運用力
設計	計画の立案、内容や活動の構想 教材・教具の準備	外国語指導の視点からの協力・アドバイス
実施	全体の掌握・進行 英語を使おうとするモデル 軌道修正や個の支援	言語材料の自然な発話 外国の習慣や文化の紹介 児童への言語材料の指導
評価	積極性や関心・意欲・態度、国際理解に ついての評価	コミュニケーションに対する態度、言語や 文化への理解を振り返る

この上で、実態に合った現実的な指導体制からスタートしてはいかがでしょう。

ALTとのTT指導のポイント

- 外国語活動の目標理解
- 打ち合わせと授業評価
- 相互補完と適性の調和
- 担任とALTのコミュニケーション場面
- 指導者どうしのコミュニケーション
～主張し合い、尊重し合う態度と関係を～



計画立案・授業実施のポイント

- ALTの派遣が単元のどの段階になるのかという見通しを立てましょう。
- ALTには、外国語指導の視点からアドバイスをもらいましょう。
- ALTにたくさん英語を話してもらいましょう。
- 児童がALTとたくさん英語を話せる機会を用意してあげましょう。
- 担任の役割や状況によって、立ち位置を変えましょう。
- ALTの英語をくり返して、「英語を話そうとするモデル」を心がけましょう。
- 「？」のときは、もう一度・ゆっくり・他の表現で言い直してもらいましょう。

